



令和6年4月1日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

会 派 名	改革木津川
代表者名	高岡 伸行

令和5年度政務活動費に係る収支報告について

木津川市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和5年度政務活動費収支報告書

会派名 改革木津川

1 収入

政務活動費 220,000円

2 支出

(単位:円)

科目	支出額	備考
調査研究費		
研修・会議費	4,200円	
広報費	112,200	会派広報紙(印刷製本費)
広聴費		
要請・陳情活動費		
資料作成費	60円	コピー代
資料購入費		
事務費		
合計	116,460円	

3 残額

103,540円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

○支出

(単位: 円)

科 目	使 途 項 目	支 出 額	支 出 内 容
調 査 研 究 費			
	調 査 委 託 費		
	交 通 費		
	宿 泊 費		
	自動車借上料		
	使 用 料		
研修・会議費		4,200	
	会 場 費		
	機材借上費		
	講 師 謝 金		
	会 費		
	交 通 費	4,200	
	宿 泊 費		
	茶菓子代等		
広 報 費		112,200	
	印刷製本費	112,200	
	役 務 費		
広 聴 費			
	会 場 費		
	機材借上費		
要請・陳情活動費			
	印刷製本費		
	交 通 費		
	宿 泊 費		
資 料 作 成 費		60	
	印刷製本費	60	
	原 稿 料		
	委 託 料		
資 料 購 入 費			
	書籍購入代		
事 務 費			
	事務用品購入費		
	備品購入費		
	事務機器賃借料		
	通 信 費		
合 計		116,460	

項 目 別 集 計 表

科目番号	科 目 名			
2	研修・会議費			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番 号
2023.08.22	寝屋川市役所訪問 (交通費)	4,200 円		2 - 1
合 計		4,200 円		

科目番号 1 : 調査研究費 2 : 研修・会議費 3 : 広報費 4 : 広聴費 5 : 要請・陳情活動費
6 : 資料作成費 7 : 資料購入費 8 : 事務費

旅 費 明 細 書

会 派 名	改革木津川		整理 番号	2 - 1	
参加者氏名	高岡伸行 玉川実二				
要 務 先	寝屋川市役所				
実 施 日	2023 年 8 月 22 日 ~ 2023 年 8 月 22 日				
目 的 (研修内容)	自治体経営の情報収集				
月 日	発 着	路 程	運 賃	特別料金	領収書番号 (無い場合は 理由)
8 月 2 2 日	木津～寝屋川市	km	2100 円 (1050 円)	円 (円)	券売機で 購入
8 月 2 2 日	寝屋川市～木津	km	2100 円 (1050 円)	円 (円)	券売機で 購入
	～	km	円 (円)	円 (円)	
	～	km	円 (円)	円 (円)	
	～	km	円 (円)	円 (円)	
	小 計		4200 円 (2100 円)	円 (円)	
	合 計		4200 円 (2100 円)		
備 考	交通経路 : 木津駅 ⇄ 京橋駅 ⇄ 寝屋川市駅				

※ ()は1人当たりの料金

別紙 4 (調査研究費)

調 査 報 告 書

令和 5 年 8 月 2 3 日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

会 派 名 改革木津川

会派代表者 高岡伸行

議 員 名 高岡伸行、玉川実二

調 査 期 日	令和 5 年 8 月 2 2 日 (火) 午前 1 0 時～
調 査 先	大阪府寝屋川市役所 ・自治体経営に係る情報収集 ・副市長を一人から二人にされた経緯について ・市民評価連動型給与の導入経過と議会の議論について
参加者氏名	高岡伸行、玉川実二
調査項目等	別 紙 の と お り

行政視察研修報告書

会派名：改革木津川

議員名：高岡伸行、玉川実二

日 時：令和5年8月22日（火）午前10時～

場 所：寝屋川市役所

研修内容：○副市長を一人から二人にされた経緯について

○市民評価連動型給与の導入経過と議会の議論について

質疑：○副市長を2人体制にする事でのメリットは。また、財源は。

回答：○メリットについて

1. 事務分担によるスピード感を持った施策・事業の推進
2. それぞれの副市長による専門知識・スキルの補完
3. 意見の多様性による幅広い視点からのまちづくりの推進
4. 二人体制による副市長事務の継続性の確保（緊急時を含む）
5. 市民とのコミュニケーションの強化

○財源について

・従来より、寝屋川市副市長定数条例において副市長の定数は2人としており、令和元年度まで基本的には2人体制をとっていた。

令和元年6月に採用した特定任期付職員の人件費を純増させないため、行革の観点から、副市長1人を空席としたが、特定任期付職員の採用が臨時的措置であり、退職したことから、今回2人制としたもの。

質疑：○副市長の役割分担の考え方は

回答：○主に「企画、総務、福祉、危機管理 等」と「財務、環境、健康、都市基盤等」で分担している。

※ 副市長の事務分担については、副市長になられる方の経歴、部局の事務量、市議会常任委員会の分担等を勘案し、組織機構を担当する部局が案を作成し、最終的には市長と副市長になられる方との協議によって決定されている。

項 目 別 集 計 表

科目番号	科 目 名			
3	広報費			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番 号
2024.03.22	会派広報紙 (印刷・折込費)	149,600 円 (112,200 円)		3-1
合 計		149,600 円 (112,200 円)		

科目番号 1 : 調査研究費 2 : 研修・会議費 3 : 広報費 4 : 広聴費 5 : 要請・陳情活動費
6 : 資料作成費 7 : 資料購入費 8 : 事務費

領収書等貼付用紙

整理番号	3-1		
支出年度	令和 5年度	支出年月日	令和 6年 3月 22日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	☐ 1 : 調査研究費 ☐ 2 : 研修・会議費 ☒ 3 : 広報費 ☐ 4 : 広聴費 ☐ 5 : 要請・陳情活動費 ☐ 6 : 資料作成費 ☐ 7 : 資料購入費 ☐ 8 : 事務費		
政務活動費金額		112,200 円	
【領収書等証拠書類貼付】 会派広報紙 (印刷・折込代) 149,600円×3/4=112,200円			

領 収 書

No. 240040

年 月 日

改革木津川 様

¥ 149,600 -

但：広報紙印刷の代金として
上記の金額正に領収いたしました

内訳

10%対象: 136,000 消費税: 13,600

アーツプラザ株式会社

〒619-1112 京都府木津川市
加茂町兎並東前田23-1
Tel. 0774-99-2030 Fax. 050-3:
[登録番号] T3130001037026

※重ねないで裏面をのり付けしてください。

請求書

artsplaza

アーツプラザ株式会社

代表取締役 古屋 研一郎

〒619-1112 京都府木津川市

加茂町兎並東前田23-1

Tel. 0774-99-2030 Fax. 050-3201-4201

Email : artsplaza@me.com

[登録番号] T3130001037026

改革木津川 様

請求日付 : 24.03.22

請求No : 240040

件名	改革木津川 広報紙印刷		
税込請求総額	¥149,600 -		
内 容	数量	単価	金額
ちらし印刷 A4両面カラー レイアウト料込	17000	5	85,000
新聞折込 3/22	17000	3	51,000

■振込先 南都銀行 加茂支店 普通292715
カナ アーツプラザ (カ
[口座名義] アーツプラザ株式会社

■備考

早期複線化が望まれるJR奈良線の事業を推進する

高岡のぶゆき



1. JR奈良線の複線化率は、約64%に達しました。各駅においてホームの拡幅やバリアフリーの整備も進む中、利便性向上と沿線地域の活性化に向け、取り組んでいるところです。今後も複線化100パーセントに向けて事業を積極的に推進して参ります。

2. 市の木である桜を活用したイベント(さくら祭り)を、中央体育館付近で開催すべきと提言しました。他府県からも、色んな方にお越し頂ける様に、取り組むべきと考えます。

3. 少子化対策の観点からも0歳児から満1歳まで「おむつ定期便」として無料で配達すべきとの提言に加え、配達時に子育て相談や見守りができるような事業を計画することを提言した。

毎年、約3500万円で出来ます。

選ばれる街へ：発想の転換をし、前例にとらわれず、今を見て10年後に向け活動して参ります。

子育て支援や教育、自治体経営の課題などに対し、将来を見据えた提言を行う

玉川じつじ



1. 子育て支援 2056年頃には、人口は1億人を割り込み、更に2120年には、5000万人を割り込むとの推計。子育て支援は、喫緊の課題であり、特に『経済支援の強化』について先進事例も含め提言。

2. 教育改革 子どもたちを中心に据え、どのような教育を推進すべきなのか？『小中一貫教育』や、子供たちそれぞれの得意分野を伸ばす真の『学校選択制』など、先進事例も含め教育改革を提言。

3. 安全な体育館環境の構築 地球沸騰化とも言われる異常気象。昨夏は、熱中症による緊急搬送も前年同期比2.3倍となり、安全な環境構築を市に要請。市は、非常に優先順位の高い事業として対応する。

4. デジタル化推進 デジタル技術によるサービスの拡充、例えば、ドローン宅配やオンライン診療自動運転など、実証実験を通して積極的に市民の利便性を上げることを提言。

5. 自治体経営 地域の稼ぐ力や地域価値を高め「地方創生」及び「地方自治体の自立化」が今後増々重要になる。稼ぐ自治体の推進に際し、民間企業での経験をもと自治体経営などについて提言。



Reform Kizugawa

他自治体からの学び

混沌とする社会において、旧態依然の考え方や、やり方を踏襲するのではなく、現在の課題に加え、将来を見据えた市政運営を行うことが求められています。

他の地域においても、積極的に自治体の自立化を図っているところは、少なからず存在しています。この度、先進自治体を訪問し、いくつかの素晴らしい市政における理念や政策を学んでまいりましたので、要点につきご報告いたします。



**『寝屋川市』移住であなたの未来が変わる!!
をキャッチフレーズに移住計画を策定。
教育や子育て支援など『変わること』を推進。**

寝屋川市長との面談から、以下要約。

いじめ0(ZERO)をめざす いじめ事案の対応フローを教育的(学校・教育委員会)、行政的(市長部局「監察課」)、法的(外部機関)アプローチで実施。早期にいじめ行為の停止など成果を上げている。

週1回のディベート授業や選択登校制と授業ライブ配信 日本人が苦手とするディベートを子どもたちの「考える力」を育むために実施。また、コロナ禍の経験から授業のライブ配信や選択登校制を実施。

社会動態対応が市長・行政の仕事 お金だけをつけるのは、持続可能な対策ではないとの考えに立ち、全国でも注目される施策を展開。社会動態対策により人口増加を図ることが重要とのこと。

行政マネジメント(副市長の配置) 政策的な人事構想を含め、市長一期目はご自身のリーダーシップによりが庁舎内をご自身自らが、把握されることに努められ副市長2人目は配置されなかった。

現在、二期目となり2人目の副市長を配置、市民とお約束された取り組みの実現を図ることが重要とのこと。

前明石市長の講話・著書に出会って

涙があふれて止まらない。同氏の魅力的な人間性に感銘を受ける。「冷たい社会を今よりやさしくするために」という理念である。

市民を思う市政は、結果として多くの自治体が悩む少子高齢化に対して9年連続人口増、8年連続税収増を成し遂げている。

同市の5つの無料化は、正に市民目線で困っていることにとどく心やさしい土着性のあるソリューション(解決策)であり多くの市民から大いに評価されているようである。

同氏は、これらのやさしい社会を「明石から始める」とし、「明石市でできたことは他の自治体でもできる。」と言い続けてこられた。我々も「困ったときはお互いさま」「誰ひとり排除しない」という言葉が浸透しているまちづくりを推進し、謙虚に他自治体のレファレンス(参考になる)ケースを学んでいきたい。

皆さまに感謝です。



主なプロフィール 高岡 伸行

学・職歴

1983 奈良育英高校卒業
1988 飲食店開業
2002 商工会青年部長

議会での職歴

・自治功労者表彰授与
・議会運営委員長(2回)
・総務文教委員長



主なプロフィール 玉川 実二

学・職歴

1982 立命館大学卒業
1982 日本IBM入社
1997 IBMベルギー出向

議会での職歴

・総務文教委員
・同副委員長、同委員長
・相楽中部消防組合議員

項 目 別 集 計 表

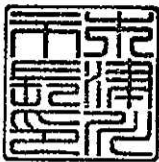
科目番号	科 目 名			
6	資料作成費			
年月日	内 容	支 払 額 (充当額)	備 考	整理番 号
2024.03.22	会派活動にかかるコピー代	60 円		6 - 1
合 計		60 円		

科目番号 1 : 調査研究費 2 : 研修・会議費 3 : 広報費 4 : 広聴費 5 : 要請・陳情活動費
6 : 資料作成費 7 : 資料購入費 8 : 事務費

領収書等貼付用紙

整理番号	6-1		
支出年度	令和 5 年度	支出年月日	令和 6 年 3 月 22 日
科 目 ※該当する項目一つに☑ して下さい。	☐ 1 : 調査研究費 ☐ 2 : 研修・会議費 ☐ 3 : 広報費 ☐ 4 : 広聴費 ☐ 5 : 要請・陳情活動費 ☒ 6 : 資料作成費 ☐ 7 : 資料購入費 ☐ 8 : 事務費		
政務活動費金額	60 円		

【領収書等証拠書類貼付】

No. _____ 納入通知書兼領収証書㊤				
口座番号	01010-9-960024	加入者	木津川市会計管理者	
納入者	改革木津川 様			
令和 5 年度		一般 会計		
科 目	款	諸収入 ()	項	雑入 ()
	目	雑入 ()	節	雑入 ()
	細節	雑入 ()		
金 額	¥ 6 0			
納入の内容	コヒ ⁰ -代 (改革木津川)			
納入期限				
別記納入場所で納入してください。				
令和 年 月 日				
木津川市長 谷 口 雄 一		 領収日付印 出納(03) 6. 3. 22 南都・木津 細 田		
上記のとおり領収しました。				

【納入者保管】

※重ねないで裏面をのり付けしてください。